まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索 オイスカ西日本

第 670 号
令和元年 8.9 月号付録

←FacebookとInstagramに日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

朝倉推進協議会青年部会発会式

7 月 13 日(土)、朝倉市の一品香甘木店にて、オイスカ朝倉推進協議会で西日本支部初となる青年部会の発会式が行われました。来賓として林裕二朝倉市長や澁谷博昭東峰村長などが参加され、また東京本部から永石事務局長、センターから廣瀬所長、大分推協の内田事務局長など約 40 名の参加がありました。

冒頭、オイスカ朝倉推進協議会の秋重義信会長がご挨拶され、発会の目的などについて話されました。青年部会会長には㈱中野建設の中野剛行代表取締役が就任され、青年部会は 17 人でスタートをしました。

今後の活動については模索中ですが、オイスカ朝倉推進協議会の活性化と役員の若返りが図れればと思います。研修センターにも足を運んでいただき、研修生との交流や行事への参加をしていただければと思います。(安東)

㈱中野建設代表取締役
中野剛行　青年部会長
挨拶

会場の様子

オイスカ国際活動促進　福岡県議会議員連盟総会

7 月 12 日、令和元年度の県議会議員連盟の総会が県議会棟大会議室にて開催されました。

今年度は、議員連盟の会員も増加し、84 名での議員連盟となりました。今回、役員人事改正となり、会長職を引き続き塩川秀敏議員が続投されました。また、新規に顧問として松本國寛議員が選出されました。当日は平成 30 年度の事業報告並びに決算・予算を審議され、事務局長の廣瀬より、日ごろのご支援に対する御礼とご挨拶をさせて頂きました。(廣瀬)

オイスカ北九州推進協議会総会

7月24日(水)、オイスカ北九州推進協議会の平成30年度総会が午前11時よりクラウンパレス北九州で行われました。総会には20名の会員の皆さんにご出席をいただき、議事に関してはすべてご承認をいただきました。今回藤澤会長後任に副会長で有限会社トリニティの安田和義社長が就任され、事務局からは新たな海外支援計画等も紹介されました。総会後は昼食をとりながら、研修生たちは会員さんと和やかな雰囲気の中で交流ができました。令和元年度も推進協議会の取り組みを更に充実して支援活動の輪を広げていきたいと思います。(満川)

ご協力ありがとうございます！

（敬称略）

【7 月の新入会】

髙川　聡子　（マンスリー個人・センター）
上瀧　和敏　（個人・佐賀推協）
樋口産業　株式会社　（法人・センター）
有限会社　三宅農場　（法人・センター）
株式会社　鶴田工業　（法人・朝倉推協）

【7 月の寄付品】

日本エコシステム㈱
佐藤俊一、長崎県立大学
松原勉、追川工業㈱、末永美裕
㈱タカモト福岡支店

みなさまのご支援でオイスカの活動が支えられています。ぜひ、ご入会ください！！

会員募集

オイスカの活動にご賛同いただける企業・団体や個人の方々を募集しています。

- **維持会員（年額一口）　法人　40,000 円**
  個人　20,000 円
- **月額会員（月額一口）　2,000 円**

◇入会されますと
・月刊オイスカ誌や各種資料をお送りします。
・海外ボランティア、視察、交流等に参加できます。
・講演会やシンポジウム等に参加できます。

◇寄付等によるご協力も随時募集しています。

◇税制上の優遇措置
当法人は、2011 年 2 月 1 日に内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。寄付金や賛助会員は税制上の優遇措置適応されます。

8･9 月号の予定

【8 月の予定】

5 日	スイミー交流体験
	堤丘小留守家庭子ども会つみ木広場
6 日	有田太鼓合宿(～7 日)
7 日	南当仁小留守家庭子ども会つみ木広場
8 日	オイスカ佐賀県推進協議会幹事会
	美和台小留守家庭子ども会つみ木広場
9 日	名島小留守家庭子ども会つみ木広場
10 日	スイミー地引網
	マレーシアツアー説明会
11 日	イエローレシートキャンペーン
16 日	板付小留守家庭子ども会つみ木広場
17 日	佐賀ラブグリーンの翼(～21 日)
19 日	東京国際大学 3 名インターン(～25 日)
20 日	和白小留守家庭子ども会つみ木広場
22 日	脇山保育園体験会
	壱岐小留守家庭子ども会つみ木広場
24 日	須恵町国際交流協会 BBQ
	はぐくみ会宿泊体験(～25 日)
26 日	マレーシアサバツアー(～9/1)
30 日	サマーナイトフェスティバル反省会
31 日	体験農園開始式

【9 月の予定】

7 日	早良高校体育祭
12 日	糸田町宿泊研修(～13 日)
20 日	四国研修旅行(～22 日)
29 日	こらぼら Q でん稲刈り
30 日	脇山校区運動会

新技能実習生入所、講習開始

今回、朝倉推進協議会のメンバーでもある秋重建設と中野建設にそれぞれ2名（計4名）のインドネシア実習生が配属するために入所しました。これから2カ月間、日本語を中心に日本の生活に必要なことや日本の会社で働くのに必要な最低限のことを学びます。センターの研修生とは違い、2カ月後直ぐに職場でそれぞれの実習に入るため研修生以上に日本語、特に会話や専門用語の修得が必要となってきます。実習生本人たちも不安を抱えていますが、会社としても初めての受入れとあってお互いに不安を抱えながらの実習となると思います。なるべくその不安を払拭できるよう、指導やサポートにあたっていきたいと思います。（彦坂）

秋重建設
左：プラム
右：ペンディック

中野建設
左：イサム
右：サディ

原西校区センター見学

原西校区人権尊重推進協議会から 23 名が来所されました。オイスカのことを知っている方も全く知らない方も来られました。国の紹介では質問をたくさん受け、研修生たちは勉強した日本語を駆使して質問に答えていました。みんな最初の頃に比べるといろいろなことを話せるようになり、交流の時間内では話したりないようでした。交流の最後に研修生がパプアの歌を披露すると、お返しに原西校区の皆さんが「ふるさと」を歌ってくれ、研修生も口ずさんでいました。また近年海外からの来日が増加する中、オイスカの研修生とのふれあいの中で国際交流の大切さを実感しました。（園田）

かぼちゃ大収穫

今年度の研修生が入国直後、はじめての農業実習がかぼちゃの定植でした。あれから4ヶ月、立派なかぼちゃが収穫できました。研修生も大喜び！　研修生総出で収穫しました。

なんと大玉かぼちゃが725個、小玉かぼちゃが250個。第一回目の収穫としては上々です。しばらく寝かせて、しっかりと味わいます。食べてみたい方、ご連絡お持ちしております。美味しいですよ～！。（廣瀬）

体験農園だより

本格的な夏が到来しました。

オイスカにはブドウ園がありまして、センターから車で 20 分ぐらい走ったところに畑があるのですが、今年は病気の被害も少なく、まずまずの生育をしていました。

今年は美味しいブドウが食べられると期待しつつ、先日久しぶりに農薬散布に行ったところ、鳥よけネットの隙間からカラスが侵入して、大量にブドウの房が食べられる被害がありました。ちょっとしたネットの隙間からよく入ったものだ、とカラスの賢さに感心しながらも、これ以上は食われないぞと必死に穴をふさぐ 8 月の始まりでした。（豊田）

オイスカ中部日本研修センター合同研修、MUFG 中部地区交流会

7月11日～14日まで愛知県豊田市にあるオイスカ中部日本研修センターへ行ってきました。前日に新門司港からフェリーに乗って大阪に着き、滋賀県にある酵素の世界社で、中部日本研修センターの研修生と合流し堆肥づくりや有機栽培について学びました。 その後愛知県にある明治乳業の工場見学をしてから中部センターへ向かいました。翌日は、中部センターの畑で片付けや草刈り、翌日の交流会の準備と中部センターの研修生とも協力して一緒に作業にあたりました。そして13日（土）は、今回の一番の目的でもある MUFG 中部地区の社員、ご家族の方との交流会に臨みました。少し雨にも見舞われましたが、研修生との交流や料理づくり、桃の収穫体験など皆さん楽しまれたと思います。中部センターでの一連の行事を無事に済ませ最終日は帰りのフェリーの時間まで余裕があったので金閣寺と清水寺へ行きました。清水寺では、たくさんの観光客でごった返す中、一人の研修生が迷子になってちょっと慌てる一幕もありましたが、日本の歴史、文化にも触れることができ、この4日間充実した研修となりました。9月は四国研修センターで合同研修と MUFG 四国地区交流会を行う予定です。（彦坂）

OB 研修生の紹介コーナー ⑧

カンボジアのヨンです。2015年の環境保全型農業技術研修生でした。国へ帰った後、専門研修所で料理と修理と洋裁を学びたい40人の研修生達の指導をしました。カンポングチャム町で BSDA という国内のNGOで働きました。この学生を指導し、4人がスタッフに昇進しました。そして、1ヘクタールの土地に野菜を植えるように学生を導きました。私に問題があった時、NGOの経営陣からサポートのアイディアが無かったので、3カ月後この仕事を辞任しました。でも、15日後から現在の国際的なNGOで教師の指導者として仕事を得ました。Room to Read Organization という国際NGOで働いています。このNGOは小学校のリテラシー分野と小学校1年生と2年生の先生達の教え方をサポートします。私はシニア指導者という立場をもらっています。この小学校の先生に指導力を指導します。この仕事はとても面白いです。皆とお互いに助けあい仕事が面白くなります。オイスカカンボジアの子供の森計画のコーディネーターの一人、オイスカOBと一緒に頑張って学校の植林活動をします。私は美容師の女性と結婚して、今1歳7カ月の元気な男の子がいます。名前はCakadaです。Sokcheaと呼んでいます。

仕事をしている中の様子

Room to Read Organization の職員と一緒に撮った写真

活動の様子

子供の森計画の植林

私の奥さんと息子

OB 研修生の紹介コーナー ⑨

ミョーさんと生まれたばかりの娘さん

ミャンマーのミョーです。2014 年の環境保全型農業技術研修生でした。国へ帰ってからオイスカミャンマー研修センターで仕事をしました。帰ってからすぐはオイスカミャンマーの古い研修センターで仕事をして、2017年から養豚プロジェクトの担当でした。色々な所で養豚をやっている農家のサポートをしました。2017年10月20日に結婚をしました。2019年6月28日に子供が生まれました。2018年から今まで野菜を担当しています。時々新しい研修センターでも手伝いを行っています。センターで日本語も教えています。日本では農業の技術を勉強しました。そして、農業を実際にやっている農家に研修に行って、日本の文化などを勉強出来て、本当に良かったです。日本で勉強をしたことはミャンマーセンターで役に立っています。今、西日本研修センターにいる研修生は、日本に居る間、頑張って勉強してください。また私たちの研修をサポートをしている方々、色々な支援をしていただきありがとうございました。そして、西日本研修センターのスタッフの皆さん、私たちを支えてくれて本当にありがとうございました。皆が居なかったら今の立場に居ないと思います。チャンスがあったらまた皆さんに会いに行きたいと思います。

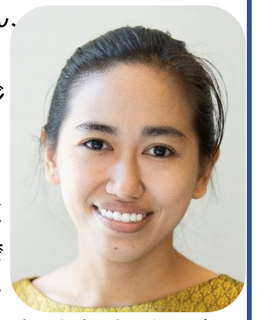
養豚を担当している時の作業

ぼかしの作り方を教えている様子

野菜の植え方を教えている様子

研修生に日本語を教えている様子

カンボジア研修生、ボーリーさん帰国



本年度研修生のボーリーさん、他の研修生と一緒に研修を行っておりましたが、カンボジアの家族の事情で研修半ばで、7 月 21 日に帰国しました。これから日本でもっと多くの事を学んでほしかったのですが、ここで過ごした4ヶ月を大切にし、現地での活躍を期待します。さよならボーリーさん。（廣瀬）

鬼木大明神　今月の一句

青春とは人生のある期間（20才代の青年時代）
　　を言うのではない
青春とは心のもちかた、心の若さなのだ！！
夢や希望を追い続けろ！　情熱を燃やし続けろ！
新たな活動を追い続けろ！
続ければ永遠に青春、一生青春だ！！
人生100才時代、60才からでもいや80才90才であっても理想を失わず、夢を追い続ければいつでも青春真只中なのだ！！

日本語の様子④

7月から、農業実習も本格的に始まり、日本語のクラスは1週間に1回、半日になりました。毎日コツコツ勉強を続けてもらうために、今年は宿題チェック表を貼り出し、何か勉強したものを提出したら、シールを貼っています。効果は…ありそうです！

クラスでの日本語学習時間は減りましたが、農業実習や地域の人との交流をとおして、日本語を話す力は着実に伸びているように感じます。教室で日本語のおしゃべりが止まらなくなることもあります。

例）先生「毎日、収穫　大変ですね。みなさんが視察旅行に行っている間、大変です。」→研修生「きゅうりも、なすも長～くなります。」（笑）

例）エリサ「京都へ行ったことがありますか。」
　ムギ　「はい、あります。」
　エリサ「どうでしたか。」
　ムギ　「楽しかったです。」
　エリサ「写真を撮りましたか。」…つづく

さあ、8月には、日本語能力試験の模試を行い、受験の申し込みをします。
そして、能力試験に向けてまだまだ頑張らなければなりません。がんばれ！研修生。（立石考子）

職場体験の受入れ

早良高校　男子生徒3名（7/16）と米国・バーモント州高校　女子生徒1名（7/22～25）の職場体験の受入れを行いました。ちょうど夏野菜の収穫の最盛期を迎えていたので主に野菜の収穫と選別、出荷作業などを行ってもらいました。早良高校の生徒は、学校がすぐ隣にあっても普段来ることのなかったオイスカでの職場体験とあって研修生とも親しく接しオイスカを身近に感じてもらえたと思います。バーモント州の女子高生は、大野城国際交流協会が毎年受入れているホームステイプログラムの一部で農業関係の職場体験希望者を昨年よりオイスカで受入れています。今年も生徒1名と引率の先生1名が午前中の2時間程ですが4日間、来所しました。野菜の収穫に加え最終日にはニワトリの解体実習にも参加をしてもらいました。それぞれがいい体験になったことと思います。（彦坂）

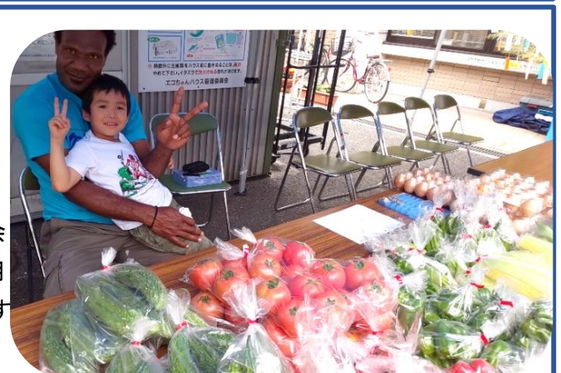
スイカ収穫体験の様子

鶏解体見学の様子

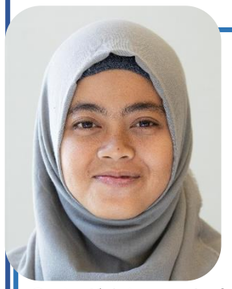
田隈公民館バザー

7 月 7 日(日)、田隈公民館でバザーが行われました。毎年恒例の人権週間に合わせて行うもので、パプアニューギニアのデリックさんと行ってきました。

当日はオイスカ以外にも 5，6 ブースが並び小物やパン、アイスクリームなどが販売されていました。公民館の中で行われる講演会や楽器の演奏を見にいく方に野菜を購入していただきました。11 月は田隈小学校で文化祭があり、そこでも野菜の販売を行う予定ですので、そこでもぜひご購入していただければと思います。（安東）



研修生の紹介コーナー ③



インドネシアから来ました。**Eka Septiana Febianti** です。ニックネームは**ティア**です。環境保全型農業技術研修生です。21 歳です。日本へ来る前はオイスカカランガニャル研修センターで農業をしました。色々な野菜と果物を作りました。時々オイスカ子供の森計画をしました。

☺　☺　？？ティアさんに聞いてみましょう？？　☺　☺

コモドドラゴン

●インドネシアのおすすめな場所はどこですか？　☞　プラウコモドです。この島はヌサテンガラにあります。どうしてこの島の名前はプラウコモドですか。たくさんコモドドラゴンが居るからです。この動物はトカゲみたいです。でも、体が大きくて長いです。7メーターの長さがあります。この動物はドンドン少なくなってきました。プラウコモドはとてもきれいです。観光客が毎年たくさん来ます。

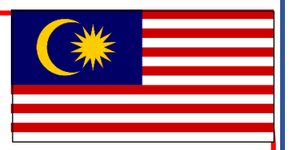
●日本の料理で何が一番好きですか？　☞　味噌汁が一番好きです。

●日本はどうですか？　☞　食べ物が美味しいです。日本という所はきれいです。そして、日本人もきれいな心を持っています。

カボチャ収穫の様子

●日本での目標、頑張ることは何ですか？　☞　色々な野菜の作り方を勉強したいです。そして、日本語能力試験N4を合格をしたいです。N4を合格をしたら、次のステップを目指して、N3を合格することです。

●好きな言葉は何ですか？　☞　Berakit rakit kehuku berenang-renang ketepian bersakit-sakit dahuku bersenang-senang kemudian です。意味は目的を大切にしたい、頑張らなければなりません。どうしてこの言葉が好きですか？この言葉は私が考えます。後で頑張りたいと思います。目的があれば人生はいい方法に進めます。頑張ります！



マレーシアから来ました **Cathy Andrew** です。ニックネームは**ケイティ**です。25 歳です。環境保全型農業技術の研修生です。日本へ来る前にオイスカテノム研修センターに研修を含めて、3年10カ月間いました。研修は農業と食品加工をしました。3年目はセンターのスタッフの色々な作業を手伝いました。

ナシゴレンカンプング

☺　☺　？？ケイティさんに聞いてみましょう？？　☺　☺

●マレーシアのおすすめの食べ物はなんですか。　☞　私の国では民族がたくさんあります。だから食べ物もたくさんありますが、紹介をするのはマレーシアのチャーハンで、ナシゴレンカンプングと言います。辛くないのと辛い物もあります。どちらも美味しいです。ご飯に桜エビといりこみたいな小さな魚、ｴﾝｻｲ、唐辛子と色々な調味料が入っています。私の国では朝ごはんに食べるものです。昨夜残ったご飯をチャーハンにします。西日本研修センターでの交流会に2～3分ぐらい作ったことがあります。

スイカ収穫の様子

●日本の料理で何が1番好きですか？　☞　味噌汁と天ぷらとうどんです。果物はスイカが一番好きです。イチゴ、ブドウ、イチジクのブツブツがある果物が嫌いです。

●日本はどうですか？　☞　日本は東京、中部、西日本しか行ってませんが私が行った所は水がとても美味しいです。

●日本での目標、頑張ることはなんですか？　☞　日本語能力試験 N4 を合格をすることです。美味しいトマトとナスの作り方を勉強したいです。そして、ぼかしと有機肥料を勉強したいです。最後にいい種の作り方を勉強したいです。

長崎県立大学センター訪問・交流

7 月 19 日（金）、毎年オイスカ海外研修生と交流を深めている、長崎県立大学の国際経営学科の学生 4 名がセンターを訪問し、短い時間ではありましたがオイスカの活動紹介から研修生との交流を深める機会を持ちました。

今回訪問した学生は、本年 10 月にベトナムを訪問するという事で、より広い視野で海外視察に臨めるようにと今回の交流会が開催されました。参加した学生は皆さん非常に積極的で、お互いに楽しい時間を共有することが出来ました。（豊田）

オイスカ「集まれ！ 地球体験村」＆サマーナイトフェスティバル

7 月 25 日(木)～27 日(土)にかけまして、第 17 回オイスカ「集まれ！ 地球体験村」が開村され、福岡市内外より 57 名の参加者がありました。早良高校生などがリーダーとなり、また早良区のジュニアリーダー育成事業を通しての参加もありました。

研修生との交流、収穫体験、川遊び、国際料理作りなどのプログラムがあり、老人クラブやボーイスカウトからもお手伝いをいただきました。

最終日のサマーナイトフェスティバルは脇山小学校で行われ、1,000 名を超える多くの方にご参加をいただきました。ステージでは地球体験村の報告会、研修生の紹介があり、お田植舞、脇山保育園の園児のダンス、早良高校の和太鼓部や書道部の演目、フラダンスサークルなども披露されました。

各ブースも脇山の皆さんが出店し、どこもにぎわっていました。オイスカブースではカレーライス、焼きそば、ジュースなどを販売し、食べ物類は完売しました。

最後に地球体験村の参加者と研修生がステージで各国のダンスを踊り、お祭りは最高潮を迎えました。その後の抽選会でも研修生や地球体験村の参加者は豪華賞品を当てることができました。

来年も地球体験村は開村されますが、参加者の中から「来年も参加したい」との声が出ていました。（安東）

佐世保産業視察・保育園交流会

7 月 2 日（火）、毎年恒例の長崎県推進協議会より招待を受けて、佐世保市内の産業視察に行ってきました。

今回の視察では、さざなみ保育園の園児との交流も含まれているという事で、最初に行ったブルーベリーの収穫体験（長崎県推進協議会山下会長が経営）では、園児と一緒にブルーベリーを試食しながら楽しい時間を過ごしました。

その次にはマンゴーのハウス栽培を見学し、栽培から収穫方法など新しい技術を学びました。各国でのマンゴーと違った栽培方法に研修生達も驚きと果実の単価に関心していました。昼食時にはさざなみ保育園に出向き、年中、年長組の子どもたちと一緒に昼食を食べ、そのあとには国の紹介から一緒に踊りを踊ったり楽しい時間を過ごしました。

交流会の後には、会員企業である白浜工業株式会社の塗装工場の見学をさせてもらいました。少しハードなスケジュールでしたが、子どもたちとの交流もあり楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。（豊田）

園児とブルーベリー収穫様子

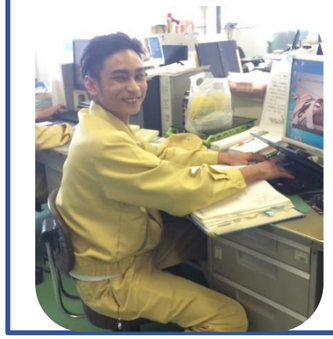
ブルーベリーハウスでのレクチャー

マンゴハウス視察

園児との交流会の様子

白浜工業株式会社の塗装工場の見学の様子

技能実習終了・帰国（正興電機製作所：ラハマン）

株式会社　正興電機製作所で3年前より初めての技能実習生として実習を行っていたラハマン（マレーシア）が3年間の実習を終えて帰国しました。実習中は、人懐っこく、物覚えも早いことから社員の方からも好かれ、また多くのことを学ぶことができたようです。実習の最後には、3年間の成果発表も立派に行いました。また、日本語面でも入国当初から日本語の上達も早く3年の内に N4から N2まで受験し見事に合格しました。帰国後は、正興電機製作所のマレーシア現地法人への就職が決まり、今後正興電機製作所の海外展開の切り込み隊長として期待をかけられています。

今後の彼の活躍が楽しみです。実習内容はそれぞれ違いますが、どの実習生も頑張っています。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。（彦坂）